

2013年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞

同窓会奨励賞

クラブ愛知賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2014年3月1日(土)11:00~12:30

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

プログラム

- 一. 開式
- 一. 挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲
- 一. 後援会奨励賞
選考結果報告 愛知大学 学生部委員長 永戸力
奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 兵藤文男
- 一. 同窓会奨励賞
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 堀田久富
奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長代行 加藤満憲
- 一. クラブ愛知賞
選考結果報告及び授与 クラブ愛知 会長 服部晋吾

- 一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞
試験結果報告
愛知大学 就職委員長 吉川剛
奨励賞授与 愛知大学 学長 佐藤元彦
- 一. 受賞者代表謝辞
公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
後援会奨励賞受賞者 代表
同窓会奨励賞受賞者 代表
- 一. 閉式

2013年度 後援会奨励賞受賞者一覧

◆スポーツの部(団体) 優秀奨励賞(6団体)

団体名	顕彰事項
準硬式野球部	平成25年度東海地区準硬式野球秋季リーグ戦 1部リーグ優勝
少林寺拳法部	第49回少林寺拳法東海学生大会 総合優勝 (11年連続)
ライフル射撃部	第27回中部女子学生ライフル射撃選手権大会 10m エアライフル立射40発競技 優勝
弓道部	第25回全国大学弓道選抜大会 出場 第57回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子団体1部リーグ優勝 第37回全日本学生弓道女子王座決定戦 準優勝
硬式野球部	春季リーグ戦 優勝
軟式野球部 (豊橋)	平成25年度中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ戦 優勝 第36回全日本学生軟式野球選手権大会 出場 (ベスト8) 第34回東日本学生軟式野球選抜大会 優勝

◆スポーツの部(団体) 奨励賞(13団体)

団体名	顕彰事項
カヌー部	平成25年度日本カヌーボロ選手権大会 一般1部男子6位・一般女子4位
空手道部 (名古屋)	第27回全日本空手道連盟和道会愛知県空手道競技大会 一般男子組手団体戦愛知大学 A 2位 第57回全日本大学空手道選手権大会 出場
硬式庭球部	東海大学対抗テニスリーグ 男子1部リーグ昇格
ゴルフ部	全国大学ゴルフ対抗戦 男子団体戦 12位
柔道部	第60回東海学生柔道夏季優勝大会 準優勝 平成25年度全日本学生柔道優勝大会 出場 第15回全日本学生柔道体重別団体優勝大会 出場
卓球部	東海学生卓球秋季リーグ戦 男女とも2部リーグ1位、入替戦勝利し1部リーグ昇格
バドミントン部	第118回東海大学バドミントン選手権大会 女子3部リーグ昇格
男子バレーボール部	平成25年度第136回東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会 男子4部リーグ1位、3部リーグ昇格
軟式野球部 (名古屋)	中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ 1部リーグ 準優勝 第36回全日本学生軟式野球選手権大会 出場
女子バレーボール部	第136回東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会 4部リーグ優勝、3部リーグ昇格 第6回愛知大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会 4部リーグ4勝0敗、3部リーグ昇格
アメリカンフットボール部	秋季リーグ戦 2部から1部へ昇格
空手道部 (豊橋)	第57回全日本大学空手道選手権大会 出場
ヨット部	2013年度春期中部学生ヨット選手権大会 国際470クラス 第2位 2013年度秋期中部学生ヨット選手権大会 国際470クラス 第2位

◆スポーツの部(個人) 優秀奨励賞(25名)

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
安藤 響木	経営学部1年	ゴルフ部	中部学生ゴルフ6月定例会 女子1位
中田 開	法学部3年	柔道部	第32回東海学生柔道体重別選手権大会 66kg 級 優勝 第32回全日本学生柔道体重別選手権大会 出場
原 啓太	経営学部1年	柔道部	第32回東海学生柔道体重別選手権大会 81kg 級 優勝 第32回全日本学生柔道体重別選手権大会 出場
小澤 賢之助	経営学部3年	準硬式野球部	平成25年度東海地区準硬式野球秋季リーグ戦 最優秀選手賞
岡田 雄樹	法学部2年	準硬式野球部	平成25年度東海地区準硬式野球秋季リーグ戦 ベストナイン (投手)・最優秀投手賞・最多勝
橋本 拓磨	法学部4年	少林寺拳法部	第49回少林寺拳法東海学生大会 男女組演武有段の部 1位・中日新聞社賞
木場 大智	法学部3年	少林寺拳法部	第49回少林寺拳法東海学生大会 男子単独演武二段以上の部 1位・男子組演武有段の部 2位
高須 美砂	経営学部3年	少林寺拳法部	第49回少林寺拳法東海学生大会 男女組演武有段の部 1位・中日新聞社賞
服部 文菜	経済学部2年	卓球部	第45回東海学生卓球各部別大会 女子ダブルス 優勝
森 美幸	法学部1年	卓球部	第45回東海学生卓球各部別大会 女子シングルス 優勝・女子ダブルス 優勝
久保 翔平	現代中国学部3年	中国武術部	第30回全日本武術太極拳選手権大会 一般部門男子南拳 3位 2013年愛知県武術太極拳大会 男子南拳 1位
城間 晋太郎	法学部4年	ライフル射撃部	平成25年度秋季中部学生ビストル射撃記録会 10m ビームビストル立射40発競技 優勝
鈴木 慎平	経済学部2年	ライフル射撃部	平成25年度中部学生ライフル射撃記録会 10m ビームビストル立射40発競技 優勝
安藤 諒哉	文学部3年	弓道部	第56回東海学生弓道選手権大会 男子個人優勝・射道優秀賞
小林 万里子	文学部1年	弓道部	第61回全国学生弓道選手権大会 選抜出場 第37回全日本学生弓道女子王座決定戦 優秀選手賞
小池 真世	文学部1年	弓道部	第48回中日本弓道近の選手権大会 団体2位 (愛知大学 A) 第37回全日本学生弓道女子王座決定戦 皆中賞
川上 貴寛	文学部4年	硬式ソフトボール部	第72回春季東海地区大学ソフトボールリーグ戦 1部打点賞
田中 奏汰	地域政策学部2年	硬式ソフトボール部	第72回春季東海地区大学ソフトボールリーグ戦 1部首位打者賞
小池 祐太	地域政策学部3年	硬式ソフトボール部	第73回秋季東海地区大学ソフトボールリーグ戦 1部首位打者賞・ベストナイン (三塁手)
松本 道成	経済学部4年	硬式野球部	春季リーグ戦 最優秀選手賞
水越 太一	経済学部4年	硬式野球部	春季リーグ戦 最優秀防御率賞
玉水 泰樹	経済学部4年	硬式野球部	春季リーグ戦 ベストナイン (指名打者) 日本学生野球協会 表彰選手

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
吉田 奨	経済学部3年	軟式野球部	平成25年度中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ戦 最優秀投手賞 平成25年度中部日本学生軟式野球連盟秋季リーグ戦 連盟特別賞 第34回東日本学生軟式野球選抜大会 最優秀投手賞
太田 雄介	文学部3年	軟式野球部	平成25年度中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ戦 最優秀選手賞
加納 英紀	地域政策学部2年	軟式野球部	第34回東日本学生軟式野球選抜大会 最高殊勲選手賞

◆スポーツの部〈個人〉 奨励賞(58名)

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
豊田 嘉広	法学部3年	カヌー部	第15回アジアカヌーボロ選手権大会 出場
野田 真太郎	経営学部3年	カヌー部	第15回アジアカヌーボロ選手権大会 出場
長谷川 宗次郎	法学部2年	カヌー部	第15回アジアカヌーボロ選手権大会 出場
下置 麻利	国際コミュニケーション学部2年	空手道部（名古屋）	第57回全日本学生空手道選手権大会 出場
加子 辰太郎	経営学部2年	空手道部（名古屋）	第57回全日本学生空手道選手権大会 出場
東端 友哉	経済学部1年	空手道部（名古屋）	第57回全日本学生空手道選手権大会 出場
牧野 恭祐	法学部2年	剣道部	第61回全日本学生剣道選手権大会 出場
木下 貴文	経営学部4年	ゴルフ部	第67回日本学生ゴルフ選手権競技 出場 第68回国民体育大会 出場
長田 柴野香	経営学部4年	ゴルフ部	第67回日本女子学生ゴルフ選手権競技 出場
金子 健也	経営学部2年	ゴルフ部	第67回日本学生ゴルフ選手権競技 出場
岡本 兼汰	経営学部2年	ゴルフ部	第67回日本学生ゴルフ選手権競技 出場 第68回国民体育大会 出場
林 隆成	法学部4年	柔道部	第60回東海学生柔道夏季優勝大会 優秀選手 第32回東海学生柔道体重別選手権大会 100kg 超級 準優勝 第32回全日本学生柔道体重別選手権大会 出場
川本 遼太郎	経営学部4年	柔道部	第32回東海学生柔道体重別選手権大会 73kg 級 準優勝 第32回全日本学生柔道体重別選手権大会 出場
真田 基生	経営学部2年	柔道部	岐阜県柔道体重別選手権大会（国体選考会） 一般男子60kg 級 準優勝
細木 勤吾	経営学部2年	柔道部	湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会 準優勝
宮田 和樹	経営学部2年	柔道部	第32回全日本学生柔道体重別選手権大会 出場
高岸 弘卓	経営学部3年	準硬式野球部	東海地区大学準硬式野球春季リーグ戦 ベストナイン（左翼手）・打率ベストテン第7位
加藤 健祐	法学部2年	準硬式野球部	東海地区大学準硬式野球春季リーグ戦 ベストナイン（一塁手）・打率ベストテン第3位
小倉 佳世子	経済学部4年	少林寺拳法部（名古屋）	第49回少林寺拳法東海学生大会 女子組演武有段の部 2位 2013少林寺拳法全国・世界大会 出場
荒川 慎太郎	経営学部4年	少林寺拳法部（名古屋）	第49回少林寺拳法東海学生大会 男女組演武有段の部 2位
森 杏奈	国際コミュニケーション学部3年	少林寺拳法部（名古屋）	第49回少林寺拳法東海学生大会 女子組演武有段の部 2位 2013少林寺拳法全国・世界大会 出場
渡辺 幸治	法学部4年	フィギュアスケート部	第86回日本学生氷上競技選手権大会 Cクラス男子 出場
松岡 美有	経営学部3年	ライフル射撃部	第27回中部女子学生ライフル射撃選手権大会 10m エアライフル立射40発競技 準優勝
額 心	法学部3年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟秋季リーグ ベストナイン（遊撃手）
小栗 慎太郎	経営学部3年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ ベストナイン（捕手）
鈴木 雅士	経営学部3年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟秋季リーグ ベストナイン（外野手）
石田 航也	経営学部3年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟秋季リーグ ベストナイン（二塁手）
戸田 貴裕	経営学部3年	軟式野球部（名古屋）	中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ 優秀選手賞
藤原 健太郎	経済学部4年	陸上競技部	第30回東三河陸上競技選手権大会 男子400m 1位
井上 祐一	経済学部4年	陸上競技部	第73回愛知陸上競技選手権大会東三河選手権大会 男子800m 1位
高尾 啓希	法学部4年	陸上競技部	第73回愛知陸上競技選手権大会東三河選手権大会 男子やり投げ 1位 第30回東三河陸上競技選手権大会 男子やり投げ 1位
松野 紘一郎	経営学部2年	陸上競技部	第40回東海学生陸上競技秋季選手権大会 男子3000m 障害物 2位
小河 咲月	文学部2年	空手道部（豊橋）	第49回和道会全国空手道競技大会 形一般女子有段 準優勝 第57回全日本学生空手道選手権大会 出場
澤田 裕輝	文学部3年	弓道部	第47回愛知県下学生弓道選手権大会 男子個人の部優勝
鈴木 希望	文学部3年	弓道部	第48回中日本弓道近畿選手権大会 団体2位（愛知大学 A）
中村 文香	文学部1年	弓道部	第61回全国学生弓道選手権大会 選抜出場
安楽 真由子	文学部1年	弓道部	第61回全国学生弓道選手権大会 選抜出場
楨野 奏絵	文学部1年	弓道部	第61回全国学生弓道選手権大会 選抜出場 第48回中日本弓道近畿選手権大会 団体2位（愛知大学 A） 第48回中日本弓道近畿選手権大会 女子個人2位
長谷川 勇介	文学部3年	硬式ソフトボール部	第72回春季東海地区大学ソフトボールリーグ戦 ベスト放送員賞
宮崎 諒	経済学部4年	硬式ソフトボール部	第73回秋季東海地区大学ソフトボールリーグ戦 ベストナイン（遊撃手）
森 貴之	地域政策学部3年	硬式野球部	春季リーグ戦 ベストナイン（投手）
太田 悠斗	地域政策学部3年	硬式野球部	春季リーグ戦 ベストナイン（一塁手）
嶋谷 衛人	地域政策学部3年	硬式野球部	春季リーグ戦 ベストナイン（二塁手）
安藤 優作	地域政策学部1年	硬式野球部	秋季リーグ戦 ベストナイン（指名打者）
清野 太希	文学部4年	男子ハンドボール部	平成25年度東海学生ハンドボール春季リーグ ベストセブン
佐治 拓也	経済学部4年	男子バレーボール部	第135回東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会 ベストスコアラー賞

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
萩原 大暉	経済学部4年	男子バレーボール部	第135回東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会 サーブ賞
山本 樹	地域政策学部3年	男子バレーボール部	第136回東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会 スパイク賞
伊藤 尚登	文学部4年	少林寺拳法部（豊橋）	2013少林寺拳法世界大会 出場
坂本 光一	文学部3年	少林寺拳法部（豊橋）	2013少林寺拳法世界大会 出場
木村 碧	国際コミュニケーション学部3年	軟式野球部（豊橋）	平成25年度中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ戦 ベストマネージャー賞 第34回東日本学生軟式野球選抜大会 最高助演賞
松原 健二	文学部3年	軟式野球部（豊橋）	平成25年度中部日本学生軟式野球連盟春季リーグ戦 ベストナイン（外野手）
大久保 貴裕	地域政策学部2年	軟式野球部（豊橋）	平成25年度中部日本学生軟式野球連盟秋季リーグ戦 ベストナイン（三塁手）
富永 ゆか	文学部2年	馬術部	第45回愛知学生自馬競技会 馬場馬術競技 L1 課目2013 優勝
小貫 啓太	文学部2年	馬術部	第45回愛知学生自馬競技会 障害飛越トレーニングクラス 優勝
磯貝 篤志	文学部1年	馬術部	第45回愛知学生自馬競技会 障害飛越競技30 優勝
小嶋 光稀	経済学部2年	ヨット部	2013蒲郡ウィーク兼中部女子インカレ 全日本学生女子ヨット選手権大会出場権獲得
朝倉 由美香	短期大学部2年	ヨット部	2013蒲郡ウィーク兼中部女子インカレ 全日本学生女子ヨット選手権大会出場権獲得

◆マネージャーの部 奨励賞（3名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
村瀬 菜央実	文学部4年	アメリカンフットボール部	チーフマネージャーとして2部リーグから1部リーグへの昇格に貢献した。
加藤 菜摘	国際コミュニケーション学部4年	硬式野球部	4年間マネージャーとしてチームに貢献し、連盟の広報委員としても活躍した。
山本 悠太	経済学部4年	硬式野球部	4年間マネージャーとしてチームに貢献し、連盟の広報委員としても活躍した。

◆学術・文化の部（団体） 優秀奨励賞（3団体）

団体名	活動内容	顕彰事項
軽音楽部	第44回 YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST 出場 2013東海ビッグバンドコンテスト 最優秀賞	今年度は、昨年度のシード権から、本選のみの出場となった。 出場34校中25位という結果ではあったが、全国大会ということで高いレベルの参加校が集う中、東海地区から出場を果たすことが出来た。 この大会は東海地区の大学11校が出場し、審査員3名が各大学のアンサンブル、リズム、ソリストに点数をつけ、順位を競う大会である。 昨年度に引き続き入賞を果たし、第1位となる最優秀賞を受賞することが出来た。
経営学部経営学科 土屋ゼミ所属学生3名 (太田早紀、石原茜、 中村 勇介)	日経 BP マーケティング「西日本インカレ2013」特別賞（3位）	同大会は、西日本の大学生を対象としたビジネスプレゼンテーションコンテストであり、本年度は過去最多の59チームが参加した。 3名は「物語ブランディング」というテーマで、『物語を使用したマーケティングを企業におけるブランディングに活用することは出来ないか?』との仮説に立ち、まず「面白い物語」の構造を解明し、その作り方ならびに評価に関する方法論を独自に提起した。実際のビジネスのシーンで運用する際の具体的な例として、科学的根拠に基づいた Web サイトをデザインし、それらの実用性が評価され特別賞の獲得につながった。 同大会で本学は2年連続の入賞となった。
地域政策学部 公共政策コース 今里ゼミ	日本公共政策学会主催「大学生による政策コンペ」で学会特別賞を受賞	日本公共政策学会の大学生による政策コンペ（2013年9月28日、東洋大学川越キャンパス、テーマ：「住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまちをめざして～人口減少社会におけるまちづくり～」応募27チーム）において、調査結果をもとに、東三河地域を舞台とした「ホッと・ほの国・誇りありー「ほの国キャンパス」学びの交流を通してー」を提案し、「学会特別賞」を受賞した。 地域政策学部の第一期生がようやく3年生になり、初挑戦した政策コンペ。夏休みも返上したとはいえ、ゼミ結成数か月での受賞は快挙と言える。 この受賞は、地域貢献活動など積極的に「地域を見つめ、地域をいかす」活動に関わってきた学生の3年間の活動に対するものであると見え、地域政策学部の特色であるアクティブ・ラーニングと学生地域貢献活動のアピールにつながるものである。

◆学術・文化の部（団体） 奨励賞（2団体）

団体名	活動内容	顕彰事項
経営学部経営学科 為廣ゼミ 「＼かみひこーき」 所属学生5名 (磯村奈穂、高木里奈、 中村まどか、 比澤修平、山越敬太)	日経 BP マーケティング 「第8回名古屋マーケティングインカレ」優勝	名古屋マーケティング・インカレは、本学のほか、愛知学院大、愛知淑徳大学、名古屋学院大学、名城大学のマーケティング関連のゼミナールによる研究発表コンテストで、単なるビジネス・プランの立案ではなく、大学らしいアカデミックな視点で現実の問題を解くという点と、参加した学生が相互に評価を行うという点に特徴がある。 本年度は、25チーム、約150名の大学生が参加し、9ヶ月間にわたって研究と討論を重ねてきました。 今回、最優秀賞となった「＼かみひこーき」は「なぜトイレにはあまり広告が普及していないのか」というテーマで、トイレを広告スペースとして活用する可能性を模索し、トイレ広告が商品のイメージ形成に役立つことを明らかにし、先行研究に基づいて実証実験を行った点や「大人」が考えない、オリジナリティーのあるテーマを掘り下げた点が評価され最優秀賞の獲得となった。
経営学部経営学科 太田ゼミ 市田柿マーケティング 研究会	「贅沢な実」 マーケティングによる新たな販路の開拓	南信州の特産品である市田柿を若者向けに販売促進するために、南信州地域の生産者・農業団体と共同でプロジェクトを始め、その成果として、「贅沢な実」というネーミングにより、これまで市田柿の販路としてはなかった新たな販路を開拓し、実際に商品化し販売に至った点が評価できる。その間、テレビ放送等でも紹介され、愛知大学のブランドイメージ向上への貢献も大きいといえる。

◆学術・文化の部（個人） 奨励賞（1名）

氏名	学部・学年	部会名	顕彰事項
佐藤 瑠美	国際コミュニケーション学部2年	軽音楽部	国際ジュニアオーケストラフェスティバル ステラジャム スティープ・サクセス賞

●スポーツの部…団体19団体／個人83名 ●マネージャー等の部…3名 ●学術・文化の部…団体5団体／個人1名

2013年度 同窓会奨励賞受賞者一覧

● 最優秀奨励賞

個人

まつい よしのり
松井 善則氏 | 昭和36年法経学部法学科卒業



全日本空手道連盟和道会総本部理事長

◆ 推薦趣旨 ◆

松井善則さんは、入学以来56年間事業と併行して空手道に打ち込み、地域の空手道の普及指導につくされ、近年は全日本和道会の理事長に選任された。平成23年には県立体育館にて世界大会を開催し各国との交流を深め親睦と友情を広げる等、現在も活躍されていることは愛知大学の誇りである。なお、和道会は国内1350支部、海外250支部、会員数約185万人。松濤館流、剛柔流、糸東流とあわせて空手4大流派のひとつと数えられている。

◇ 略歴 ◇ 昭和14年愛知県西尾市に生まれる。昭和32年愛知大学法経学部入学と同時に空手部に入部。昭和53年公益財団法人全日本空手道連盟公認全国審判員に東海地区第一号および最年少にて合格。平成2年和道会総本部全国理事に就任。平成15年東海学生空手道連盟理事長に就任。平成23年和道会総本部理事長に就任。

やぶうち しげみ
藪内 繁己氏 | 経済学部経済学科教授



小島清賞研究奨励賞の受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

経済学部の藪内繁己教授は2013年10月13日、日本国際経済学会「小島清賞研究奨励賞」を受賞した。同賞は、2005年小島清一橋大学名誉教授・日本国際経済学会名誉顧問の寄付によって設立され、「国際経済に関する学術研究において、特に優れた業績を上げた者であって、さらなる研究の奨励に値する者に対して授与する」とされている。

今回の受賞は、藪内教授の『産業関連と国際貿易』（日本評論社、1984年）などの著書と、「Journal of International Economics」や「Review of International Economic」といった海外の査読付き学術雑誌に掲載された数多くの国際貿易理論に関する業績が評価されたことによる。

◇ 略歴 ◇ 1950年和歌山県生まれ／1981年兵庫県立神戸商科大学大学院博士課程を修了後、愛知大学法経学部講師として着任／1989年愛知大学経済学部教授／1994年名古屋市立大学経済学部に移籍／2009年愛知大学経済学部教授として復帰、現在に至る。この間、名古屋都市計画審議会委員、日本経済学会理事、日本国際経済学会理事などを歴任。専門は国際貿易と貿易政策の理論的研究。著書に「産業関連と国際貿易」（日本評論社）、「現代貿易理論の潮流」（中央経済社、共著）など、また内外の学術誌に論文多数。

みずの ひねのり
水野 宗徳氏 | 平成7年経済学部卒業



放送作家・脚本家・小説家として数々の執筆活動と各種の受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

水野宗徳さんは、1972年8月1日、名古屋市生まれ。1995年に愛知大学経済学部を卒業した。愛知大学在学中は、落語研究会に所属し、漫才コンビで各種の賞を受賞し、太田プロダクションに入社し、芸能界入りをはたした（その後コンビ解散）。

1996年に放送作家としてデビューし、「笑っていいとも！」（フジテレビ）をはじめ多くのバラエティ番組に携わるほか、連続ドラマの企画＆脚本、国民的アニメ「ドラえもん」（テレビ朝日／2007年～現在）のシリーズ構成を務めるなど幅広く活躍中である。ドキュメンタリー番組も数多く手がけ、「ママからの手紙」（福井テレビ）で第38回放送文化基金エンターテインメント番組賞を受賞。構成メンバーとして参加した「ワンステップ！」（TBS）では、2009年ギャラクシー賞を受賞した。

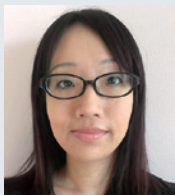
また、「おっぱいバレー」（リンダパブリッシャーズ）で小説家デビューを果たし、中学校バレー部を舞台にした青春小説はベストセラーとなり、2009年に綾瀬はるか主演で映画化された。2010年、戦時中の軍犬をテーマに描いた「さよなら、アルマ」（サンクチュアリ出版）が、NHKスペシャルにてドラマ化されるなどマルチな才能を如何なく発揮し、企画・構成等で数多くテレビ番組に携わっている。

◇ 略歴 ◇ 1995(平成7)年愛知大学経済学部卒。1996(平成8)年放送作家デビュー。有限会社 Planing8代表取締役／日本脚本家連盟・日本放送作家協会会員
受賞歴：2009(平成21)年ギャラクシー賞(構成参加)。2011(平成23)年第38回放送文化基金エンターテインメント番組賞。2013(平成25)年日本文藝家協会ベストエッセー選定(中日新聞コラム「ジャングルとビッグ」)。

●優秀奨励賞

個人

おくだ あきこ
奥田 亜希子氏 | 平成18年文学部哲学科卒業



第37回すばる文学賞受賞

◆推薦趣旨◆

奥田亜希子さんは、集英社が主催する純文学の公募型新人文学賞の「すばる文学賞」を受賞された。受賞作品は文芸誌「すばる」11月号に掲載され、今回は、1433作品の応募の中から2作品が受賞し奥田さんの作品がそのうちの1作品に選ばれた。選考委員は、江國香織、奥泉光、角田光代、高橋源一郎、堀江敏幸の5名で新人作家の登竜門とされ、今後の活躍が大いに期待できるものである。

◇略歴◇ 1983(昭和58)年愛知県に生まれる。2002(平成14)年愛知大学文学部哲学科東洋哲学専攻入学。2006(平成18)年株式会社明光企画に勤務するかたわら小説の執筆を始める。

あおやぎ ひさき
青柳 妃咲氏 | 短期大学部ライフデザイン総合学科2年次生



文部科学省後援 実務技能検定協会主催 秘書技能検定日本秘書クラブ賞賛状受賞 文部科学省後援 実務技能検定協会主催 秘書技能検定1級取得

◆推薦趣旨◆

青柳妃咲さんは、文部科学省後援 実務技能検定協会主催の秘書技能検定において準1級を優秀な成績にて合格し、日本秘書クラブ賞賛状を受賞した。この賞は12,899名の受験者のうち全国で14名のみに与えられる賞である。

またその後最上級である1級を筆記試験、面接試験をともに一度で合格した。1級は社会人にとっても難関であるとされ、愛知大学において短大生での合格は初めてである。

秘書技能検定は「人柄育成」を掲げているが、候補者はこの検定を通して得たことを活かし、学友会会長として人望を集め、また就職活動においても数社から内定をもらうなど確実に成果を出していることは賞賛に値する。

◇略歴◇ 2012(平成24)年愛知大学短期大学部ライフデザイン総合学科入学

●奨励賞

個人

おかばやし しずお
岡林 鎮雄氏 | 昭和32年文学部文学科卒業



短歌指導（皇居歌会をはじめ入選、朗詠）

◆推薦趣旨◆

昭和32年文学部卒。郷里で小中高校国語を中心に教師を務め、この間歌作に精進し、平成12年の宮中歌会始めでは応募総数23,157首の中から入選し、天皇陛下の前で歌が詠まれた。入選作品は「時」を御題に詠んだ「ひらひらという語教えて ひと時を 留学生ら花吹雪浴ぶ」で、中国からの留学生を指導し、日中親善に貢献したときの一首。

歌作の実力、国際交流の実績とも同窓会奨励賞に該当するものである。

◇略歴◇ 1979(昭和54)年中学校勤務。1985(昭和60)年小学校長。1994(平成6)年退職。1995(平成7)年長門市教育委員会勤務。1997(平成9)年長門高等学校勤務（中国留学生担当）。2000(平成12)年歌会始入選（題、時）。

かまたに かつひこ
鎌谷 克彦氏 | 昭和40年法経学部法学科卒業



28年間保護司として活動

◆推薦趣旨◆

昭和60年12月から保護司として活動。平成20年5月から高岡市保護司会副会長に就任。平成25年5月からは高岡市保護司会会長に就任。

保護司として、28年間、社会奉仕の精神をもって、犯罪をした者の改善及び厚生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、もって地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与している。

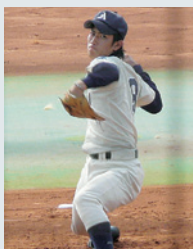
(参考) 保護司になるためには、保護司法に基づき、次の条件を備えていることが必要。

- ・人格及び行動について、社会的信望を有すること
- ・職務の遂行に必要な熱意及び時間的余裕を有すること
- ・生活が安定していること
- ・健康で活動力を有していること

なお、この間、社長として会社経営に従事している他、愛知大学富山支部長としても活動しています。このような社会貢献は、卒業生として愛知大学の栄誉を高めており、同窓会の奨励賞に相応しいものである。

◇略歴◇ 1965(昭和40)年法経学部法経学科卒業。1966(昭和41)年化学薬品等卸売業を起業、2010(平成22)年まで代表取締役。1985(昭和60)年保護司拝命、1989(平成元)年人権擁護委員拝命、各協議会長を歴任し現在に至る。元同窓会富山支部長、富山支部相談役

そ ぶ え だいすけ
祖父江 大輔氏 | 平成22年経済学部卒業



硬式野球

◆ 推薦趣旨 ◆

祖父江大輔さんは、愛知大学入学入学から投手を始めたが、4年次生の時に日米大学野球の選考合宿を経験し、秋季リーグ戦では5季ぶりに1部昇格即優勝を成し遂げた秋季リーグでは最優秀選手賞、ベストナイン賞を獲得するなど目覚ましい活躍をはたした。トヨタ自動車入社後も1年目から公式戦に出場し、主に中継ぎ・抑えとして全国大会で活躍。4年目となる今年は、先発エースとして日本選手権大会出場に貢献し、また中日2軍戦に6回無失点の粘投を披露するなど脚光を浴び、ドラフト会議で中日ドラゴンズから5位指名を受け、本学の名を大いに高めることに貢献した。

	試合	回数	被安	奪三	四死	自責	防御率	
【大学時代：リーグ戦成績】	通算：50	23勝10敗	310	192	331	126	50	1.45
【トヨタ自動車時代：全国大会成績】	通算：8		20	20	20	9	7	3.15

◇ 略歴 ◇ 2010(平成22)年愛知大学経済学部卒業。トヨタ自動車入社／2013(平成25)年、中日ドラゴンズよりドラフト5位指名を受ける。

あ か だ りゅういちろう
赤田 龍一郎氏 | 2006(平成18)年経済学部入学



硬式野球

◆ 推薦趣旨 ◆

赤田龍一郎さんは、静岡学園高校で1年秋から4番を打ち、高校通算31本塁打を記録。愛知大学では2年春から4番を任され、4年秋のリーグ戦では打点王となり、同校の1部昇格即優勝に貢献した。当時バッテリーを組んでいたのは2013年のドラフトで中日ドラゴンズから5位指名を受けた祖父江大輔さんである。

2009年のドラフトで中日ドラゴンズから育成2位指名を受け、入団。2013年5月1日に支配下選手契約を結び、翌5月2日に支配下登録された。2013年8月1日には、対阪神戦でプロ初打席で出場。

◇ 略歴 ◇ 2006(平成18)年愛知大学経済学部入学。2009(平成21)年中日ドラゴンズ育成枠にて入団。2013(平成25)年支配下登録

奨励賞

団 体

愛知大学サッカー部 4年次生



サッカー活動

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学サッカー部は東海学生リーグ2部に属しているが、スポーツ推薦枠もなく笹島移転に伴うグラウンドも未確保の中でも大いに努力しており、今年のリーグ戦は最終戦まで入れ替え戦に参加するなど本学サッカー部の知名度向上に貢献した。限られた予算のため、選手自らの負担でコーチ契約を結び(コーチ名、吉田光輝、元日本代表、ドーハの悲劇のメンバー)、今年の1年生の中にはコーチを慕って本学に入学した生徒もいるなど、自主的に活動する現役サッカー部員は本学の模範となるものである。

(劇)上海自転車



(劇)上海自転車

(劇)上海自転車による「本間喜一物語～はじまりの手紙～」上演大成功

◆ 推薦趣旨 ◆

(劇)上海自転車は、本学卒業生である中野葉保子氏が代表を務める演劇製作ユニットで、劇団としては2001(平成13)年9月23日に旗揚げ、2002年1月13日に七つ寺共同スタジオで旗揚げ公演を行い、2011年に現在の(劇)上海自転車に変更された。(劇)上海自転車は、年に1回の定期公演(2008年以降外部オファー対応)、ランの館等ナロースペースや劇場自主企画での朗読劇講演、市の防犯劇(2回担当)上演、ラジオ・テレビ出演、演劇指導、映像におけるエキストラ派遣等、幅広い活動を展開されている。愛知大学に開演した公演としては、2010年8月7日の安城支部総会におけるアトラクション「オツベルと象」公演、昨年(2012年)名古屋校舎で開催された同窓会設立60周年記念全国総会・記念祭での「本間喜一物語～はじまりの手紙～」などがある。

2013年に豊橋校舎内旧学長室で行った公演では、彫心鏤骨、真柏の演技は観客を感動のルツボに巻き込み、あるものは感涙し、あるものは沈黙思考し、しばしの静寂の後、割れんばかりの拍手に会場は包まれた。この感動が同窓生、在学生、入学を希望する者、全ての人間に深く刻まれ、忘れることのないよう、ここに同窓会奨励賞を贈ることにする。



学生の企画・運営による昇龍道プロジェクトの成功

◆ 推薦趣旨 ◆

昇龍道プロジェクト支援企画「学生による中部観光提案コンテスト～三重県編～」の実施に際し、学生による企画・運営の組織化は初めてであったが、2013年5月までの運営委員募集に22名の応募があり、応募動機等記載のレポートにより選考の結果、10名による学生運営委員会（以下「運営委員会」）が発足した。

参加チーム募集ガイダンスのビラ配りに始まり、募集ガイダンス、現地日帰り視察ツアー、当日の運営など、関係者との連絡調整・引率・アンケート実施に至るまで、学生自身によるハンドリングはみごとに成し遂げられた。

メンバーは学部が異なり、授業から就職対応に至るまで大変な時期であったが、運営委員会は記録に残るだけでも16回開催されている。また、広報活動も積極的に行い、三重県庁・三重テレビ・中日新聞三重総局を訪問した結果、現地視察ツアーは中日新聞三重版、三重テレビで取り上げられている。また、本選時には、中日新聞本社、東海テレビを訪問し、本選の様子は中日新聞、東海テレビ、三重テレビで取り上げられた。その他、本学公式のフェイスブック活用など、広報活動に力を入れたことも特筆すべき事項であろう。昇龍道プロジェクト提案コンテストを見事に成功裏に終えることが出来たのは、正に運営委員会による汗と涙の結晶に他ならない。

J：法学部 E：経済学部 M：経営学部 C：現代中国学部 学年は全て3年生。

● クラブ愛知賞

団 体

国際協力サークル「SEED」



フェアトレードの普及活動

◆ 推薦趣旨 ◆

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」のことをいう。

国際協力サークル「SEED」は、「お買い物でできる国際協力」をモットーとし、フェアトレードの普及活動に力を入れており、主な活動内容として、学内の生協店舗でのフェアトレード商品販売、フリーペーパーの発行、愛大祭での出店などをおこなっている。

学外でのイベントにも積極的に参加し、JICA 等の他団体との交流も行うなど、更なる知識探究と本学の名を高める活動は大いに評価できるものである。

● 資格試験奨励賞

司法試験



篠田 篤

法科大学院法務研究科2010年修了



浅野 聡志

法科大学院法務研究科2011年修了



森下 和也

法科大学院法務研究科2012年修了



長谷川 康

法科大学院法務研究科2012年修了



井神 貴仁

法科大学院法務研究科2013年修了



佐竹 康孝

法科大学院法務研究科2013年修了



田島 輔

法科大学院法務研究科2013年修了



田島 港

法科大学院法務研究科2013年修了



福井 淳也

法科大学院法務研究科2013年修了



藤川 雄太

法科大学院法務研究科2013年修了



増本 陽

法科大学院法務研究科2013年修了



水野 圭助

法科大学院法務研究科2013年修了

公認会計士試験



塚本 光賀

会計大学院会計研究科2012年修了



金澤 信由

会計大学院会計研究科2013年修了



篠田 明宏

会計大学院会計研究科2年次生

司法書士試験



岩井 保寛

法学部法学科2011年3月卒業



土田 梨菜

法学部法学科2011年3月卒業

税理士試験



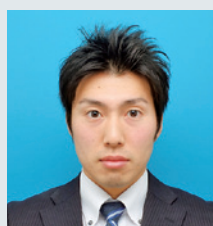
江見 克之

会計大学院会計研究科2010年修了



安井 弘高

会計大学院会計研究科2011年修了



田中 堅二郎

会計大学院会計研究科2012年修了

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概 要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

- ① 最優秀奨励賞：100,000円
- ② 優秀奨励賞：50,000円
- ③ 奨励賞：30,000円
- ④ クラブ愛知賞：100,000円

* 個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

（学術・文化の部）

- ① 最優秀奨励賞：
全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ② 優秀奨励賞：
中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ③ 奨励賞：
上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

（スポーツの部）

出願資格

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位～8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優 勝	準優勝、3位	4位～8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優 勝	準優勝
その他の大会			優 勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

（社会貢献の部）

- ① クラブ愛知賞：
愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研究支援財団に出願された書類をもとに本財団で審査を行い、理事長が決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団で審査を行い、理事長が決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概 要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金 額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で当該の資格試験に合格した者

必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（終了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。

2013年度 公務員試験合格者奨励賞受賞者一覧

●報奨金額5万円(38名)

- ・国家一般職 10名・国税専門官 1名・労働基準監督官 2名・都道府県庁職員（行政職／専門科目含）2名
- ・都道府県警察職員（専門科目含）2名・名古屋市職員（事務職／専門科目含）5名 教員 16名

法 学 部	加藤 僚真	法 学 部	水谷 江里	文 学 部	田村 駿介
	安立 早織		黒澤 慶亮		牧野 聖也
	尾崎 文香		水谷 香菜		栗本 拓哉
	村上 直紀		鮎川 瑞絵		岡本明日佳
	村上 礼		内藤 寛人		鬼頭 義紀
	松野 花香		高橋 遼		細川 博史
	高城沙織里		柵木 良介		横井乃理子
	高橋 菜月		星野 李佳		古川真里菜
	川井 菜帆		水谷 尚登		竹内 宏
	伴野 舞		森川 祐樹		宇野 成美
法 学 部	水野 健太	経 済 学 部	藤井 果歩		加藤 耕平
	石原 聖也		鈴木 麻央		平野 温子
	小島 輝香		松田 芽生		
法 学 部		経 営 学 部			
法 学 部		国際コミュニケーション学部			

●報奨金額1万5千円(94名)

- ・名古屋市職員（事務職／教養科目のみ）4名・都道府県警察職員（教養科目のみ）1名
- ・市町村職員 45名・警察官 26名・消防官 3名・名古屋港管理組合 3名
- ・その他団体職員 2名・国立大学法人等職員 1名・小中学校事務職員 6名
- ・自衛隊幹部候補生 3名

大学院中国研究科	矢野 貴海	法 学 部	高木 一輝	経 済 学 部	守田 光宏	現代中国学部	石川 恵里
	寺西 剛		大橋 慶壽		白村 浩人		伊藤 千晶
	市川 凌平		山田 怜奈		荒木 秀平		清水 健司
	早瀬 元貴		長尾 優司		山口 恭平		坂田健一郎
	水野 太介		石川 慶子		後藤 真吾		加藤 菜月
	吉田 十来		清雲 瑞紀		辻本 将哉		神谷麻実子
	服部 翔太		山田 大輔		朝日建太郎		菅沼 真衣
	林 隆成		鈴木 晶登		河野 健		曾根 裕人
	白井 瑞希		岩田 侑奈		川原 佑馬		森山 美音
	河原 桐香		長瀬 聖		室田 直人		三輪宗一郎
法 学 部	松本 佑貴	法 学 部	伊藤 類	経 営 学 部	笹俣 亮	文 学 部	河田 憲二
	柴田 隼次		辻 淳史		水谷 亮介		藤田 大人
	増田 隆人		鷺津 清人		千賀 貴代		仲井 萌
	赤羽 翔馬		堂地 敦志		美澤 佳典		大石友里奈
	垣内 謙明		高野 智基		前田 大成		鈴木 彩
	岩田 響平		村上 拓也		奥村 研太		松井 理恵
	中野 綱大		鈴木 亮平		伊藤 澄香		栗田 彩加
	三ツ井猛人		山田 純也		豊田 亮		伊藤 宗希
	加納 早紀		菰田 恭平	現代中国学部	遠山 陽		川上 貴寛
	柴田 裕介	経 済 学 部	伊藤 伸志		林 伸樹		柴田 梓
法 学 部	藤本 崇道		田代 皓太		牧 浩幸		山下由希子
	横井 貴紀		塚原 一嘉		中根 慶柱		早川 紘司
	渡辺 幸治		岩瀬 健		本多 弘樹		
	大野 拓也		宮本 崇司		西根 亜実		

2013年度 公務員試験合格者の報奨制度

2013年度の学部・短大・大学院在学生の公務員試験合格者については、以下の通り大学として表彰をいたします。

報奨金授与の条件

- ・愛知大学の学部・短大・大学院（博士後期課程および専門職大学院生を除く）在学生であること。
- ・2013年度の各種公務員試験に合格し、就職をすること。
- ・最短就業年限（学部4年、短大2年、大学院修士課程2年）を超える学生および9月卒業生も対象とする。
- ・合格証明書をキャリア支援課に提出すること。
- ・複数の公務員試験に合格した場合も、報奨金の重複授与はしない。

報奨金の授与の方法

- ・合格者は指定の期日までにキャリア支援課に申し出ること。
- ・3月に「愛知大学・後援会・同窓会 奨励賞授与式」を開催し、報奨金を授与する。
- ・万が一表彰式開催以降に決定した場合は、報奨金の授与はキャリア支援課が行う。

■5万円

- ・国家公務員総合職／一般職（国立病院機構含む）・裁判所職員総合職／一般職
 - ・国税専門官・労働基準監督官・財務専門官・都道府県庁職員（行政職／専門科目含）
 - ・名古屋市職員（事務職／専門科目含）・都道府県警察職員（専門科目含）・公立小中高学校等教員採用試験
- （注）地方上級職・警察職員で教養のみの試験（名古屋市行政職・愛知県行政Ⅱ等）の場合は1万5千円となる

職種と報奨金額

■1万5千円

- ・都道府県庁職員（行政職／教養科目のみ）・名古屋市職員（事務職／教養科目のみ）
 - ・都道府県警察職員（教養科目のみ）・市町村職員・警察官・消防官
 - ・名古屋港管理組合・国立大学法人等職員・小中学校事務職員・刑務官
 - ・法務教官・自衛隊幹部候補生
- （注）一部の市役所職員（岐阜市、安城市、浜松市等）、小中学校事務職員などにおいて、専門科目を含む試験が実施されている場合でも、上記の職種については1万5千円となる。
- （注）自衛官（一般曹候補生）は対象外とする。

※上記に記載されていない職種について、合格及び就職が決定した場合は、試験の難易度等の実情に合わせてキャリア支援課が決定する。

